

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 1-58487

Laid-Open Date: April 12, 1989

Japanese Utility Model Application No. 62-155501

Filing Date : October 8, 1987

Inventor : Eiichi Ono

Applicant: Eiichi Ono

### **NEWSPAPER DELIVERY CASE**

It is an object of this invention to develop a novel delivery case that enables a delivery person to quickly deliver an object to be delivered in a comfortable manner without getting it wet or defacing it.

Means for solving the problem is described with reference to the drawings.

- (i) A delivery case includes a lid (2) and a body (1).
- (ii) A vertically long opening (4) is provided in a front face of the body (1).
- (iii) The lid (2) has a dogleg cross-section. The lid (2) is arranged to cover the opening (4) in the front face of the body (1) when being closed.
- (iv) The lid (2) and the body (1) are jointed with a locking bar (6). It is possible to easily attach and detach the lid (2) by removing a core bar.

# 公開実用平成 1—58487

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-58487

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

B 65 D 83/08

識別記号

庁内整理番号

G-7214-3E

⑭ 公開 平成1年(1989)4月12日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 新聞配達用

⑯ 実 願 昭62-155501

⑰ 出 願 昭62(1987)10月8日

⑱ 考 案 者 小 野 榮 一 大分県大分市牧3丁目8番4号

⑲ 出 願 人 小 野 榮 一 大分県大分市牧3丁目8番4号

## 明 細 書

### 1. 考案の名称 新聞配達函

### 2. 実用新案登録請求の範囲

(イ) 配達函は 蓋②と 体部①とから成る。

(ロ) 体部① の前面に、縦長の 開口部④を  
設ける。

(ハ) 蓋②は、断面を くの字形にして、体部  
前面を覆うようにしてある。

(ニ) 蓋②と体部①の接合部は、かんぬき⑥式  
にしてある。

芯棒を抜き去り、蓋②の着脱ができる。

以上の構成よりなる 新聞配達函

### 3. 考案の詳細な説明

#### 産業上の利用分野

この考案は 全天候用の 新聞配達函 に  
関するものである。

#### 従来 of 技術

これまで 新聞の配達には カンバス布 にくるんだり、種々の 函などに入れて 運搬しているが、雨天時などの配達に際しては、新聞紙を取出すのに 非常に不便で、且つ又濡れたり汚損などの不具合な点が多かった。

#### 考案が解決しようとする問題点

本案はその欠点を除いて 配達物を濡らしたり汚損することなく 迅速 快適な 配達業務ができるよう、新しい配達函を 開発しようとするものである。

#### 問題点を解決するための手段

解決手段を図面で追いながら 説明すれば、

(イ) 配達函は 蓋②と 体部①とから成る。

(ロ) 体部① の前面に 縦長の開口部④ を設ける。

(ハ) 蓋② はその断面を く の字形 にして、蓋を閉じた時 体部① 前面の開口部④

を覆う様にしてある。

- (二) 蓋②と体部①の接合は、かんぬき⑥式にしてあり、その芯棒を抜き去れば、容易に蓋②の着脱ができる。

#### 作 用

本案は以上のような構造であるから、これを使用するときは、

- (1) 雨天の時は 第2図 のごとく

(イ) 蓋② を取り付けたまま 使用する。

(ロ) 取手③を持って、蓋②を持ち上げ、取り出し開口部④から 中の新聞を取出す。

(ハ) この際、蓋②の 前の部分⑤は<sup>フタシ</sup>扉の役目をして 雨滴による濡れ、汚損を防ぐことができる。

- (2) 雨天の時以外は

(イ) かんぬき⑥ の一方の端のナットを外し、 芯棒を 抜き去り 蓋②を取外して、函の体部 のみで 配達

に使用する。

- (ロ) 函体部① 前面の取り出し開口部④  
は縦長に 開口してあるので 中の  
新聞紙が外に 脱落する事がなく、  
また、 取り出し動作が 容易に  
できる。

#### 考案の効果

よって 晴雨に拘らず 迅速快適、能率的な  
配達業務の遂行が望める。

#### 其他の実施例

なお 本考案の実施に当って、次のような事  
ができる。

- (イ) 蓋② 及び体部①を F. R. P.  
(強化プラスチック)を以て 製作  
すれば 強靱 且つ 耐久性にも  
優れたものができる。
- (ロ) 単に 新聞などの定期刊行物の配達  
に限らず、他の 要配送小物品にも

応用することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は 本考案の正面図

第2図は 雨天 使用時の 斜視図

第3図は 雨天使用時の 側面図

第4図は 雨天以外の際に使用時の斜視図

①は 函の体部

②は 蓋部

③は 取手

④は 取出し用の 開口部

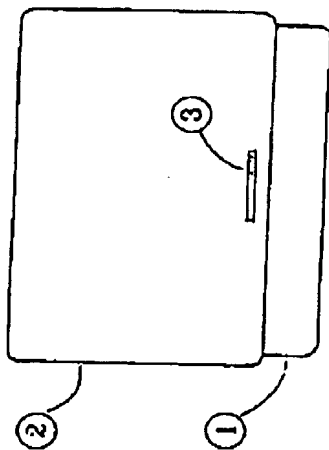
⑤は 蓋の前面部分

⑥は かんぬき

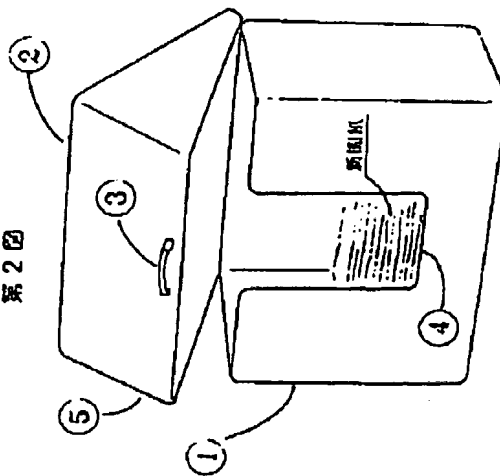
実用新案登録人 小 野 榮 一

図 面

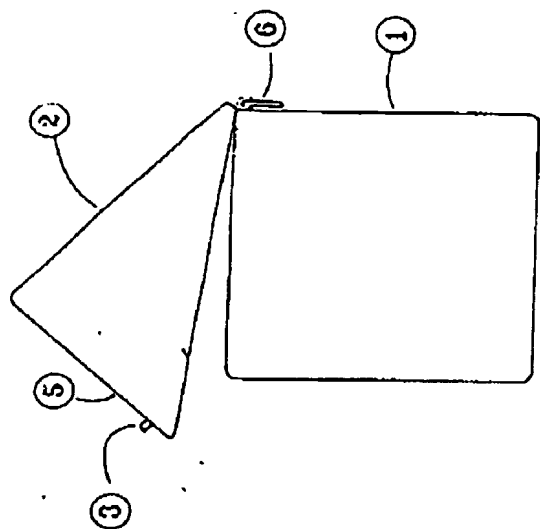
第 1 図



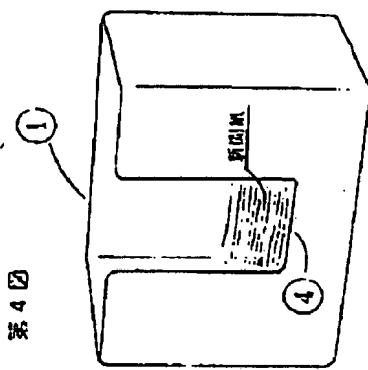
第 2 図



第 3 図



第 4 図



実用新案登録出願人 小 野 榮 一

特許 1-58487

BEST AVAILABLE COPY